



インターネットでの情報提供	
提供予定日	10月28日

平成22年10月27日 県政記者クラブ配布			
関係部課及び企業	担 当	担当者	電話番号
商工労働部商工政策課	新エネルギー企画監	稲葉 昭夫	直通 058-272-8354
イビケン株式会社	常務取締役	臼井 勝弘	0584-74-3355

次世代エネルギーモデルハウス「GREENY岐阜」の一般公開について

県では、今後最も成長が期待されるエネルギー・環境分野における新たな産業創出を目指す取組みを推進及び促進しております。その一環として、燃料電池、太陽光発電、蓄電設備、充放電制御システム、電気自動車などを備えた次世代新エネ・省エネモデルハウス「GREENY(グリーンイー)*岐阜」が完成し、一般公開することとなりましたので、お知らせいたします。

県では、次世代エネルギーの様々な活用の姿を、県民の皆様に体験いただくため、次世代エネルギーインフラの整備・公開を進めていますが、この「GREENY岐阜」は、「花フェスタ記念公園」(公共施設モデルとして5月に公開)、「クックラひるがの」(商業施設モデルとして6月に公開)に続くもので、家庭における次世代エネルギーの活用を実際に体験いただく「家庭モデル」と位置づけております。

なお、本事業は、緊急雇用創出基金事業を活用し、県がイビケン株式会社に委託して実施するものです。

※GREENYとは：ENERGYを並び替えると、『緑がかった』という意味のGREENYになる。エネルギーの使い方を組み替えて、緑を増やすという思いが込められている。

記

1 オープニングセレモニーについて

(1) 日 時 平成22年11月5日(金) 午前9時30分～午前10時

(2) 会 場 岐阜市茜部野瀬1-5-6(別紙参照)

(3) 出席者等 <主催者> イビケン株式会社 代表取締役社長 坂井 隆

<来 賓> イビケン株式会社 代表取締役会長 岩田 義文

東京大学大学院 工学系研究科建築学専攻 教授 坂本 雄三

岐阜県商工労働部 部長 江崎 禎英 他

(4) 内容 主催者あいさつ、来賓あいさつ、テープカット、施設見学

2 GREENY岐阜について

(1) 概要

「消費されるエネルギー」よりも「生み出されるエネルギー」が多い住宅。太陽光発電等導入により環境負荷がゼロとなるゼロエミッション住宅の次の世代の住宅として、5年後には実用化し、10年後には住宅を新築する場合の標準化を目指す。

太陽光発電・燃料電池などを組み合わせた次世代エネルギーインフラの導入に加え、省エネ家電及び高断熱化など最先端の省エネルギー対策を実施した結果、標準住宅0.4軒分のエネルギー消費量に相当する余剰が見込まれる。

(2) 利活用・公開方法

一般公募による体験宿泊やイビケン社員等関係者が一定期間居住することにより、GREENY岐阜の効果を検証する。同モデルハウス内に、住宅省エネに関する相談センターを設置し、GREENY岐阜を普及啓発するとともに、省エネ・新エネに関する各種相談を受け付ける。

(3) 事業主体及び経費について

蓄電池、充放電制御システム及び電気自動車の整備並びに実証等については、県からの受託事業としてイビケン株式会社が実施。既存のモデル住宅の改修及び省エネルギー化、普及段階にある太陽光発電・燃料電池の整備については、イビケン株式会社が自ら実施。

実施者	費用(概算)	業務内容
県商工労働部	2,500万円	蓄電池・充放電制御システム・電気自動車(以上全てリース)の整備、実生活データ取得及びモデル住宅運営について、イビケン(株)へ委託
イビケン(株)	3,500万円	既存モデル住宅改修、各種省エネ対策、太陽光発電・燃料電池・小型風力発電等普及段階にある次世代エネルギー設備の整備

3 イビケン株式会社について

イビデングループの建材・住宅設備製造及び販売会社

- ・所在地 大垣市河間町一丁目60番地
- ・設立 昭和44年4月
- ・資本金 9,600万円
- ・従業員数 228人
- ・事業内容 建材製品及び家具什器等住宅機器製品の製造並びに販売、建築の設計、施工及び監理等業務

4 次世代エネルギーインフラ普及に向けた取組みについて

(1) 次世代エネルギー利用の状況に合わせたモデルの提示

太陽光発電や燃料電池、電気自動車など、複数のエネルギー資源や新たなエネルギー技術の「ベストミックス」によるモデルとして「次世代エネルギーインフラ」を提示し、その普及促進を行うことで、地域社会への普及と関連企業の誘致を目指す。

①「公共施設」モデル

県営都市公園「花フェスタ記念公園」に整備、平成22年5月公開。太陽光発電や燃料電池の電気をLED照明等で使用し、余った電気を蓄電池で安定化させ電気自動車に供給するという「次世代エネルギーインフラ」を楽しく学べるモデルとして運用中。

②「商業施設」モデル

プチホテル及びショッピングモールを併設する民間複合施設「クックラひるがの」に整備、平成22年6月に公開。太陽光発電や燃料電池の電気により、特産の「ひるがの高原アイスクリーム」を冷却したり、貸出用電動アシスト自転車を充電するなど、次世代エネルギーを各種サービスに活用するモデルとして運用中。

③「家庭」モデル

今回公開する「GREENY岐阜」

④「都市」モデル

アクティブGを中心に、発電機機能付き空調機や太陽光発電を設置し、平成22年12月末に稼働予定。

⑤「中山間地」モデル

小水力発電及び木質ストーブを加えたより独立性の高いモデルが、郡上の古民家において、平成22年12月末に稼働予定。

なお、上記のうち、「商業施設」モデル、「公共施設」モデルは、「次世代エネルギーパーク」として平成21年8月に経済産業省の認定を受けている。

※次世代エネルギーパークについて

資源エネルギー庁は、新エネルギーをはじめとした次世代のエネルギーについて、実際に国民が見て触れる機会を増やすことを通じ、国民の理解を深めるため、太陽光等の次世代エネルギー設備や体験施設等を整備した「次世代エネルギーパーク」を推進。地方自治体等を対象に、計画を公募・認定・公表し、PR等を行っており、平成22年4月1日現在、全国で25件を認定。

(2) 次世代エネルギーパーク等を活用したモデルツアーの企画実施

- ・「次世代エネルギーパーク」を多くの方に体験していただくため、新エネルギー関連施設の見学や、県内観光施設の訪問を組み合わせたバスツアー事業に取り組んでいます。
- ・この11月には、夏休みに実施他ツアーに続く第2弾として「新エネルギー体験秋の親子バスツアー」(4コース、定員140名)を実施。